北條寺・木造阿弥陀如来坐像

問合せ　社会教育課
電話 055-948-1461

文化財通信

その38　県指定文化財紹介９

北條寺（南江間）には本尊の『木造観音菩薩坐像』と、『木造阿弥陀如来坐像』『牡丹鳥獣文繍帳』の三点の県指定文化財が所蔵されています。今回は、木造阿弥陀如来坐像を紹介します。

阿弥陀如来は、西方浄土を掌る仏で、修行時代に衆生救済（民衆を救う）のため四十八の願をたて、これをかなえて阿弥陀仏となったと伝えられています。このうちの第十八番目の願では、「念仏を唱える人々は極楽浄土に行ける」と説いており、阿弥陀さんは人々を救ってくれる仏だという信仰のもとになっています。

北條寺の阿弥陀如来坐像は、高さ六十六、七Aで、桧材の寄木造りです。座禅と同じ座り方をし、膝の上で弥陀の定印という手の組み方をしています。目には水晶を入れ玉眼としています。現在の表面は漆塗りですが、一部に金箔が残っていることから本来は漆の上に金箔を貼り付けていたことがわかります。像の底部は途中までくり抜いて漆を塗り、そこを底板とした上げ底式で、運慶が鎌倉時代初頭に始めた技法とされています。底板の内側はくり抜かれ空洞となっています。

この像は、全身に張りの強い肉体を表し、口元を引き締め、力強く男性的な表情をもつ作風や、上げ底式であることなどから、慶派（運慶の技法を継ぐ）の仏師が制作した佳作とされています。また制作年代は、形式化されていない衣文（衣のひだの流れ）の表現や、表情にいくらか生々しい現実感的な趣が漂うことなどから、鎌倉時代の少し前～中ごろとみられます。

なお北條寺では、所蔵する三つの県指定文化財を盗難や損傷から保護するため、機械警備を行なっています。拝観を希望する場合は前もって寺にご連絡ください。

【北條寺・木造阿弥陀如来坐像】

指定区分	県指定有形文化財（彫刻）
指定名称	木造阿弥陀如来坐像
指定年月日	昭和52年3月18日
製作年代	鎌倉時代中ごろ
製作者	不明（慶派の仏師）
所蔵者	北條寺（南江間） 電話 055-948-1399

文化協会だより 27

入場無料

第一回工芸展

文化協会工芸部の作品展です。お誘い合わせてお越しください。

とき　七月四日（金）十三時～十七時
五日（土）九時～十七時
六日（日）九時～十四時

ところ　あやめ会館多目的ホール

問合せ　工芸部（宇野）電話055（949）3548

工芸展にはレザークラフト、手編み、てまり、刺繍、パッチワーク、トールペインティングなどが出展される予定

会員募集

スペイン語教室『ビバ・エスパニョール』

楽しく学び、会話できるようになりましょう。

とき　毎月第二、第四土曜日
十九時～二十時三十分

ところ　韮山農村環境改善センター

講師　ナタリーさん

問合せ　学芸部（石川）
電話090（6940）6019

ナタリーさんと学ぼう！

図書館だより

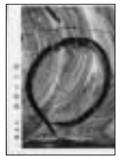
＊【　】内は所蔵館名

問合せ

【中央図書館】電話 0558-76-5566
休館日：毎週月曜日、
６月は特別整理期間のため18日（水）～27日（金）の間も休館します。
おはなし会 ６月14日（土）11：00～
【長岡図書館】電話 055-947-2364
休館日：毎週月曜日
おはなし会 ６月19日（木）14：30～
【韮山図書館】電話 055-949-8605
休館日：毎週水曜日
おはなし会 ６月14日（土）、28日（土）14：00～
＊毎月最終金曜日・祝日・年末・年始などは３館共通の休館日です。
＊休館日の詳細は、月のカレンダー（広報にはさみ込み）・図書館ホームページ・各図書館配布の図書館カレンダーをご覧ください。

今月の五冊

「ワンス・アポン・ア・タイム・イン・東京　上、下」
楡周平　著／講談社
安田講堂の挫折から30年。革命の志も理想も捨て、政治家と大病院の理事長となった２人は運命の再会。権力の魔力を２世代の男女を通して描く壮大なドラマ。**【中央】**



「静かな爆弾」
吉田修一　著
／中央公論新社
テレビ局に勤める早川俊平は、ある日公園で耳の不自由な女性と出会う。取材で人の声を集める俊平と、音のない世界で暮らす響子。やがて恋に落ちる２人だが…。**【長岡】**

「猫たちの冬」
ヴォルフガンク＆ハイケ・ホールバイン 著／ポプラ社
「ぼくがこの町を守らなきゃ！」謎の美少女レギーと不思議な力をもつ猫たちに導かれて、少年ユスティンは邪悪な「闇」との戦いに挑む。ミステリアス・ファンタジー。**【韮山】**

「ヒトとサルのあいだ　精神はいつ生まれたのか」
吉田脩二　著／文藝春秋
ヒトはいつ“こころ”を獲得したのか？思春期外来の先駆者が10年の研究の末に出した結論は？「脳と精神」の深みへあなたを誘う知的興奮に満ちた科学サスペンス。**【長岡】**

「世界はどうなっちゃうの？こわいニュースにおびえたとき」
キャロル・シューマン 文／大月書店
国内外で起きる恐ろしい事件のニュースがあふれる現代、知覚が鋭く繊細な子どもの心を大人はどうケアすればよいのか？子どもと一緒に開いてほしい本。**【韮山】**

スタッフ通信

中央図書館の玄関先では、ヤマモモの実が赤黒く熟すころです。周囲の雑草の生い茂る早さに毎年辟易しながらも、植物の本を開いて名前の由来を調べたり、味を確かめたり…。小さな楽しみです。
（図書館司書・中山）

親子にオススメこの絵本

テーマ　あめの日ってたのしいな

６月は雨の多い時期。
外で遊べない雨の日は、親子でゆっくり絵本を楽しんでみませんか？
雨が楽しくなるかもしれませんよ。

●**「あめこんこん」**松谷みよ子 文【中央】
●**「あまがさ」**やしまたろう 作【中央】
どちらも新しいかさとながぐつを買ってもらい、雨の日を待つ女の子のお話。元気で楽しい「あめこんこん」と、郷愁を誘う「あまがさ」。どちらも“うた”が出てきます。

●**「あめのひきのこは…」**ステーエフ 原作
野原の小さなきのこの下であまやどりをしたい動物たち。みんな入れるかな？【中央・長岡】

●**「かさもっておむかえ」**征矢清 作　お父さんのかさをかかえて一人で駅までお迎えにいったかおる。なかなかお父さんに会えなくて…。【中央・韮山・長岡】